

製品・サービス動向-国内

■フューチャート：アルバイト採用管理システムで初のWEB面接機能を搭載

(PRTIMES!: 5月8日)

株式会社フューチャート (<http://www.fuchart.com/>) (東京都中央区) は、アルバイト・派遣用の採用管理システム「bizプラ (bizpla) 採用管理」にWEB面接機能を搭載し5月8日に提供開始した。

WEB面接で採用をスピードアップ!



WEB面接のイメージ (フューチャート)

WEB面接 (オンライン面接・ビデオ面接) 機能ではスマートフォンやタブレットで簡単に面接ができるようになっている。同社によると同様なアルバイト採用管理システムでは初めてという。

bizプラ (bizpla) 採用管理のWEB面接機能を使えば、求職者はいつでもどこでもスマートフォンやタブレット、パソコンで面接を受けることができるため、わざわざ店舗や派遣登録会場まで出向く必要はなくなる。LINEやSkypeのようなユーザ登録や友達登録をせずに、URLをクリックするだけで簡単にWEB面接を使い、高品質で長時間でも通信が途切れないスムーズ性を特徴としている。また使った分だけの従量課金方式となっている。

お互いインターネット回線につながりさえすれば、どこにいても面接できるため、本社やコンタクトセン

ターなどで面接官を集中させて全国の面接を行ったりすることもできるとしている。

さらに、録画機能も提供しているため、面接官と決裁者を役割分担し、決裁者があとで都合の良いタイミングで録画された面接動画を閲覧して合否判定するような使い方もできる。なお、WEB面接のデータと合否判定の結果は、bizプラ (bizpla) 採用管理内に自動保存され履歴管理ができる形になっている。

フューチャートによると、既存のビデオチャットアプリやテレビ会議システムを活用してオンライン面接を試みる企業も出てきたが、双方がユーザまたは友達登録を行わないと使えないので面倒であったり、面談途中で通信が切れてしまう、スマートフォンでは使えないといった課題があったという。

■santec：リモートワークからリモート保守、リモート商談などに対応したリモート製品を発売

(Dreamnews: 5月9日)

santec株式会社 (<http://www.santec.com/jp/>) (愛知県小牧市) は、これまで取り扱ってきたリモート製品を一新し、働き方改革の基本ツールとなるリモートワークに対応した「Online ScreenView(オンラインスクリーンビュー)」、顧客サポートからリモート保守、リモート商談まで対応した「Online ScreenAssist(オンラインスクリーンアシスト)」を発表した。販売開始は7月から。

Online ScreenViewは、外出先からパソコンやモバイル端末を使い、会社で利用しているパソコンに接続す

ることで、いつでもどこからでも事務所で業務作業環境を提供できるツール。インターネットを介して会社のパソコン画面を外出先から自由自在に操作でき、まさに会社で作業をしているのと同じ感覚で利用できる。また、セキュリティ面では接続先端末の表示を完全に消す「ブラックスクリーン機能」のほか、遠隔プリント機能、接続履歴管理など充実した機能で効率的な作業環境が実現するとしている。

Online ScreenAssist は、リモートサポート、リモート保守、リモート商談、Web 会議をひとつのパッケージとして提供するツール。

今回発表された製品は、ヨーロッパ、アメリカ、日本など世界各国で利用されており、日本国内においてはユーザー 2,000 社を誇るリモート製品「ISL Online」のエンジンを利用し開発されたもの。ISL Online は、XLAB 社 (<https://www.xlab.si/>) が開発し株式会社オーシャンブリッジ (<http://www.oceanbridge.jp/>) (東京都渋谷区) が日本総販売代理店になっている。

santec は 1979 年創業。光部品・光測定器製造販売を行っている JASDAQ 市場上場企業。従業員数は 190 名 (連結)。本社は愛知県小牧市で販売子会社が米国 (ニュージャージー州)、英国 (ロンドン)、中国 (上海) にある。世界 30 か国以上への販売実績がある光技術のパイオニア企業。一方、2005 年よりリモート製品を中心にソリューション事業を立ち上げ日本顧客向けにアプリケーションソフトの販売を行っている。

ビジネス動向-国内

■情報医療：三菱商事など 4 社から 11 億円調達

(5 月 14 日)

株式会社情報医療 (<https://micin.jp/>) (東京都千代田区) は、4 月末までに三菱商事株式会社など 4 社から 11 億円を調達したと発表。

情報医療は、早期に病気を発見する、重症になるのを防ぐために適切な治療法を提示するなど、医療現場で活用される人工知能 (AI) を開発・提供している。2015 年 11 月 26 日設立。オフィスは東京と高知にある。

今回、第三者割当増資の引受先となった三菱商事など各社に加え、幅広く事業会社・病院・研究機関などと連携し、医療の情報を適切に活用するためのソリューションを生み出していく。今回の調達資金で、さまざまな医療現場の実情により即した AI を開発していくとしている。

同社は、AI を活用したヘルスケアソリューションに加え、オンライン診療サービス「クロン」を事業として展開している。オンライン診療は 4 月から診療報酬が新設され、今後さらなる普及が期待されている。2 つの事業を通じ、「健康・医療に関する情報が、自ら所有するものとして蓄積され、主体的に活用されることで、すべての人が、納得して生きて、死んでいける社会づくりに貢献する」というビジョンの実現を目指す。

ビジネス動向-海外

■シスコシステムズ：「Cisco Spark」と「Cisco Webex」のプラットフォームを集約し、「Cisco Webex Meetings」や「Cisco Webex Teams (旧 Cisco Spark)」を発表

(4 月 19 日)

シスコシステムズ (https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html) (米国・カリフォルニア州) は、これまで提供してきた「Cisco Spark」と「Cisco Webex」のプラットフォームを集約し、会議を行うための新たなアプリケーション「Cisco Webex Meetings」と、円滑なチームコラボレーションを促す新たなアプリケーション「Cisco Webex Teams

(旧 Cisco Spark) 」などを発表した。

今回の発表のポイントの第1点目は、新しくなった Cisco Webex Meetings がビデオファーストを重視するという点。プレゼンテーションが映った画面だけを凝視する時代は終わり、お互いの姿を見て確認することがよいチームワークにとって不可欠という考えから、カメラの起動が強く推奨されることになった。また Cisco Webex Meetings は容量の追加と、セキュリティおよび分析能力向上の実現により、ひとつの会議に1,000人まで参加できるようになった。

なお、Webex はクラウド経由で提供されるため、世界で1億人以上いる Webex のユーザは今回のバージョンアップに伴う特別な対応は不要となっている。今後数カ月以内にアップデートの通知が自動的に届くという。

第2点目は、Cisco Spark の最新版を新たに Cisco Webex Teams と名付けた点。Cisco Webex Teams にはホワイトボード、メッセージング、ゲストアクセス、コンテンツ共有、統合ツールなど、会議中から会議後までチームをサポートする機能が豊富に備わっている。

さらに、オールインワンコラボレーション端末「Cisco Spark Board」も新たに「Cisco Webex Board」として生まれ変わる。従来のビデオ会議端末から Cisco Webex Meetings へ参加することにより、より臨場感のある会議を体験することができるとしている。

第3点目は、ほとんど使われていない壁掛けのテレビモニターを有効活用できないかという発想から生まれた「Cisco Webex Share」。手のひらサイズのアダプタをテレビ裏面に差し込むだけで、大画面でのコンテンツ共有が低コストかつ極めてシンプルに実現することが可能となったもの。システムが同期することで書類や画面の共有が開始され、終わった後も Webex Teams のスペースで作業を続けることが可能となっている。またチームメンバーは会議室の予約あるいは予約済みかどうかの確認など多くのことが可能となる。

以上、Cisco Webex Meetings、Cisco Webex Teams 対応の Cisco Webex Share は2018年下期に提供開始予定となっている。導入プランについては、「Cisco Collaboration Flex Plan」を発表している。企業はユーザ数分の利用料(ライセンス)の支払いのみで導入が可能となっている。

シスコシステムズによると、Google、マイクロソフト、Slacks など他社製ツールと Webex とを連携させていくロードマップが予定されている。たとえば会議には Webex を使いたいが、チームコラボレーションにはマイクロソフトを利用したいといったことも可能になるという。ユーザにとって選択肢の多さ、最適なものを自由に選べるということが重要と同社では考えている。

以上のほか、4月19日のプレスリリースでは、AIを活用した2つの機能について言及している。それらは「Webex Assistant(旧 Cisco Spark Assistant)」と「ノイズ抑制機能」。

シスコシステムズは、昨年11月に会議効率の向上にAIを活用する計画を発表した。Webex Assistant は対応端末が拡大し、より多くの機能が追加される。AI関連のスタートアップである MindMeld 社の買収(2017年5月発表)で得たテクノロジーを活用しているもので、今後、あらゆる会議・通話・対話・意思の疎通にAI技術を導入していく予定という。その中で、これから数カ月をかけて、シスコのクラウド接続に対応した「Cisco Webex Room kit」や「Cisco Room シリーズ」端末に対応していく。

もうひとつは、ノイズ抑制機能。タイピング音や犬の鳴き声といった周囲の音などを抑制する機能。たとえば、通話中に誰かが大きな紙をめくり始めたら、システムが自動的にその人の音を小さくし、会話を邪魔しないようにする。一方、その人の発言時には、システムがそれを理解して音声の抑制を解除するといった仕組み。シスコの全てのクラウド接続型とオンプレミ

スのビデオ端末にノイズ抑制機能を搭載した。

■シスコシステムズ：AI スタートアップ企業 Acompany 社の買収意向を発表、コラボ レーションにおける AI や機械学習の機能を強化

(5月9日)

シスコシステムズ (https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html) (米国・カリフォルニア州) は、Acompany 社 (米国・カリフォルニア州) を2億7,000万ドルで買収するとの意向を発表した。

Acompany 社は、見込み客の開拓、購買プロセスのナビゲーション、関係強化など一連の流れをAI主導型リレーションシップインテリジェンスプラットフォームとして提供しており、今回の買収によって、シスコのコラボレーションポートフォリオにおけるAIや機械学習の機能をさらに強化し、Cisco Webex meetings でのユーザプロフィールや企業データの提供など、コラボレーションポートフォリオで求められてきた機能やサービスを加速することができるとしている。

今回の買収にあたりシスコシステムズは Acompany 社に対して2億7,000万ドルの現金の支払いと債権の引き受けを行う。Accompany 社 CEO のエイミー・チャン氏 (Amy Chang) は2016年10月からシスコの取締役を務めてきたが、今回の人事に伴いシスコの取締役を即時辞任し、コラボレーションテクノロジーグループ担当シニアバイスプレジデントに就任した。Acompany のチームは、チャン氏が率いるシスコのコラボレーションテクノロジーグループに編入される。買収手続きは慣習的な取引完了条件に従い、シスコの2018会計年度第4四半期中に完了する見通し。

なお、これまでコラボレーションテクノロジーグループを担当してきたシニアバイスプレジデント兼ゼ

ネラルマネージャーのローワン・トロロップ氏 (Rowan Trollope) はシスコを退職し、5月3日付けで別会社の CEO として新たなキャリアを歩む。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/fix_uc_500/index

■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ)ー

ハドルルーム (4~6名程度) に最適な、120度の広い視野角と4K光学にも対応するオールインワンタイプのカンファレンスカム

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (5月~6月)

「失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー」、「「従来比1/3のコストで導入できる」V-CUBE Box 体験セミナー」、災害現場の今を共有出来ていますか? 災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上、など

会場 (東京・大阪・名古屋)

詳細・申込: <https://jp.vcube.com/event/all>

■グループ 10 万人のコミュニケーション基盤に Office 365 を選んだ理由～リコー事例から学ぶ Office 365 セミナー～

日時：5月21日（月）14:00～17:30(受付：13:30～)

会場：日本マイクロソフト 品川本社

主催：リコージャパン株式会社

共催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18K064.html>

■働き方改革（ワークスタイル変革）実践事例セミナー～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる働き方改革～

日時：5月29日（火）午前と午後の部あり。内容は同じ。

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム

（東京都中央区）

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18K035.html>

■メールを卒業してチーム作業効率アップ！

Microsoft Teams ハンズオンセミナー

日時：6月6日(水) 15:00～17:00 (受付：14:30～)

会場：日本マイクロソフト 品川本社

主催：株式会社大塚商会

詳細・申込：

<https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/18/0606teams/>

■Experience Avaya

日時：6月開催

会場：札幌、福岡、東京（※それぞれ日程は下記 URL にてご確認ください。）

主催：日本アバイア株式会社

協賛：アルファコム株式会社/SCSK 株式会社/エンピレックス株式会社/株式会社 BEDORE/GN オーディオジャパン株式会社/日本プラントロニクス株式会社

詳細・申込：

<https://news.avaya.com/fy18-apac-experience-avaya-japan-index>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2018年5月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp